









患者名【

様】

パス名：胃切除術（ダヴィンチ）

※状況により、検査・治療に変更が生じますのでご了承ください。

ステージ	急性期	回復期		退院準備期	退院	
経過	術後1～2日目	術後3日目	術後4～7日目		術後8～13日目	術後14日目
食事	医師の許可にて、水分摂取が可能となります。 	主治医の指示で、食事が開始になります。 食事は、 栄養補助食品 、5分適量食、易全粥適量食、 易消化適量食 へと状況に応じて変更していきます ※あらかじめ、スプーンの準備をしておいて下さい。				
活動	術後1日目 医師の許可にて、歩行が開始となります。 トイレまで歩く練習を行います。 ※初めて起きる時はスタッフを呼んで下さい。	少しずつ距離を伸ばしていきましょう。				
排泄	術後1日目、尿の管を抜きます。（医師の許可後） →トイレに行かれる際は、ナースコールでお知らせ下さい。					
清潔	シャワー浴が可能になるまで、身体を拭きます。 	発熱がなければ、洗髪が可能です 傷の状態が問題なければ、医師の許可によりシャワー浴が可能です。				
薬 痛み止め	点滴があります 痛みがある時は痛み止めを使います。 熱がある時は解熱剤を使うこともあります。	食事開始後は、摂取量を見ながら点滴の本数は減って行きます。				
治療	▶朝、5時30分頃に採血を行います 朝、6時頃 心電図モニター足の加圧装置を外します。 ・血栓予防のための弾性ストッキングを着用します ・医師の廻診があります。 ・検温は、1日3回行います。	検温は1日3回行います。				
検査	手術後1日目：採血 ホール撮影による胸部と腹部のレントゲン	手術後3日目：採血、ドレン排液の検査、腹部のレントゲン		手術後7日目：採血、腹部のレントゲン		
説明 指導		 <p>注意！！ 水分・食事を取られた後に、腹痛・吐き気・冷や汗などの異常があれば直ちにお知らせください。</p>		退院前日までに ご家族と一緒に（自宅にて食事を作られる方）に、栄養士より、栄養指導があります 日程は決まり次第お伝えします *不都合な場合は本人のみで結構です 退院前日 退院の手続きを行います 退院後の生活や、外来受診について説明を行いません（パンフレットをお渡ししますのでご利用ください。） 退院についての説明後、退院療養計画書を提出して下さい ◎患者さんアンケートをお渡しします ご記入の協力をお願いします		
ご質問 ご要望	何かご不明な点があれば看護師へお尋ねください。		計画説明日 年 月 日 同意者ご署名		計画説明者 本人以外の場合は、患者様との関係	

午前中退院のご準備をお済ませ下さい。
 1. 1階の入院会計で、お支払いをお済ませください。
 2. 病棟に入金報告書を提出して下さい。
 3. 診察カード・お薬（必要時）をお渡しします。

